

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	edu.kids宇宿		
○保護者評価実施期間	対象者なしの未実施（公表未対象事業所） ～		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	R7年 2月 26日 ～ R7年 2月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	R7年 1月 15日 ～ R7年 1月 31日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験のある保育士や児童指導員による、園の現場と療育の現場どちらの経験もあるスタッフが揃っている。	園での役割、事業所での役割、幼児の課題や状況に応じて関わり方やサポートへの引き出しを多く持っている職員同士で話し合いの場やスタッフの得意を活かした訪問支援ができる。	訪問支援を通して新たなサポート体制や知識、知見の共有を図り、手厚く丁寧なサポートができるためのケース会議や勉強会
2	・保育所等訪問支援の対象外の幼児とも園との情報交換、共有を行っているため、保育所等訪問支援が必要になった際にスムーズに介入できる。	送迎時の情報交換（些細なことでも伝えたり、聞いたりすること）を意識的に行い、情報の交換後は事業所スタッフとも共有を図るようにしている。	保育所等訪問支援対象外の幼児でも関係機関連携を常に図っているため、今後は必要に幼児には事業所側からも声かけや提案をしていき、療育現場から現場に向けたサポートを充実していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現状、保育所等訪問支援を新事業所になってから実績がない。	対象児へ働きかけを十分に行えていない。	対象児利用がないため、保育所等訪問支援を行っている事業所としての情報公開を積極的に行なっていく。
2	保育所等訪問支援が必要となる幼児に対しての保育園への働きかけに時間を要する。	保護者、園とのやりとりや連携、課題把握の仲介を行う中で連携が途中で遅延してしまうことがあり、保育所等訪問の希望が出てから1ヶ月弱の時間を要する。	実施までの連携でタイムラグが出るため、事業所側から積極的に声かけや手紙、メール等を通じた働きかけを行なっていく。
3			